

作成日：2022年 12月 20日

研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

進行大腸癌における IMP3 (Insulin-like growth factor II mRNA-binding protein 3) 発現の臨床病理学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学江東豊洲病院消化器センターで手術が施行され、同院臨床病理診断科において2014年4月から2023年3月までに病理組織診断が実施された大腸癌患者さん

2. 研究目的・方法

大腸癌は多くの場合、手術によって治る病気ですが、肝臓などに転移することがあります。どのような患者さんが治りにくい癌なのか知ることができれば適切な診療を行うことにつながります。私たちは大腸癌におけるIMP3という蛋白質の発現を調べようと考えています。IMP3の発現を調べることによって将来の大腸癌診療に役立てたいと考えています。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理標本（病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等）

病理診断に付随する資料（病理検査申込書、病理検査報告書、カルテ情報等）

（患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で取り扱う試料・情報等は、研究責任者が、個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、どの研究対象者または提供担当者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工したうえで昭和大学医学部 臨床病理診断学講座研究室に送付いたします。

昭和大学江東豊洲病院 臨床病理診断科 診療科長およびその代理となる医師が試料・情報の提供担当者を担います。

昭和大学医学部 臨床病理診断学講座研究室にて、病理標本の作製（免疫染色、FISHを含む）および病理学的解析を行います。

5. 研究組織

昭和大学江東豊洲病院 臨床病理診断科 (東京都江東区豊洲 5-1-38)

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター (東京都江東区豊洲 5-1-38)

昭和大学医学部 臨床病理診断学講座 (東京都品川区旗の台 1-5-8)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部臨床病理診断学講座

氏名：塩沢 英輔

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000(内 8122)

研究責任者・研究代表者： 塩沢 英輔 (昭和大学医学部臨床病理診断学講座)